

天理市の公共交通に関する観光地来訪者アンケート調査結果

1 調査の実施

(1) 調査の目的

天理市を訪れる観光客を、公共交通の新たな需要として取り込む可能性を把握するため、市内の主要観光拠点において来訪者の現在の交通手段や公共交通のニーズ等について、ヒアリングによるアンケート調査を実施した。

(2) 調査の設計

①調査対象

- 調査箇所 石上神宮、天理市トレイルセンター、なら歴史芸術文化村
- 調査対象 各調査箇所への来訪客
- 調査標本数 233 件
(石上神宮 81 名、天理市トレイルセンター62 名、なら歴史芸術文化村 90 名)
- 抽出方法 来訪客の中から調査員が任意に選定

②調査方法・期間

- 調査方法 調査員によるヒアリング形式のアンケート調査
各調査箇所に 2,3 名の調査員を配し、調査員がヒアリング結果を調査票に記入
- 調査実施日 令和 5 年 5 月 27 日 (土) 9:00~17:00

③調査項目

- 回答者の属性 (性別、年齢、同行者)
- 居住地
- 各調査箇所への観光 (余暇、散策等含む) 目的での来訪回数
- 各調査箇所への交通手段
- 各調査箇所以外への天理市内の来訪予定箇所
- 天理市への行き来及び周遊に利用する交通手段
- 天理市への行き来及び周遊に公共交通を利用した理由、利用しなかった理由
- 天理市の公共交通の不便なところ
- 観光・周遊の視点から天理市の公共交通がどうなれば便利になるか (自由意見)

(3) 本報告書の数値の取り扱い等

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2つの選択肢を集約した場合（「大変満足」と「やや満足」を合計した『満足』など）は、当該選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

2 アンケート調査結果

1 回答者の属性

① 性別

○石上神宮は「女性」の割合が40.1%、なら歴史芸術文化村は「男性」が55.0%、天理市トレイルセンターは「女性」が53.2%とそれぞれ高い。

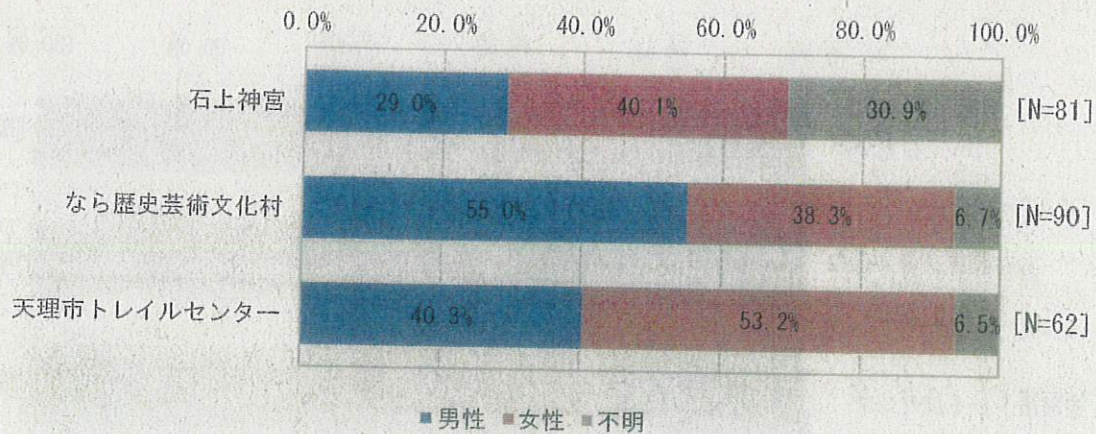


図 性別

② 年齢

○石上神宮では、「40 歳代」が26.5%で最も多く、以下「50 歳代」(20.4%)、「30 歳代」(16.0%)、「70 歳代」(11.1%)と続いており、比較的年齢層のバランスがとれている。

○なら歴史芸術文化村は、「50 歳代」が30.0%で最も多く、以下「40 歳代」(28.9%)、「60 歳代」(20.0%)、「30 歳代」(10.0%)と続いており、中年層の割合が高い。

○天理市トレイルセンターは、「50 歳代」が30.6%で最も多く、以下「60 歳代」(21.0%)、「40 歳代」(14.5%)、「70 歳代」(11.3%)と続いており、中高年層の割合が高い。

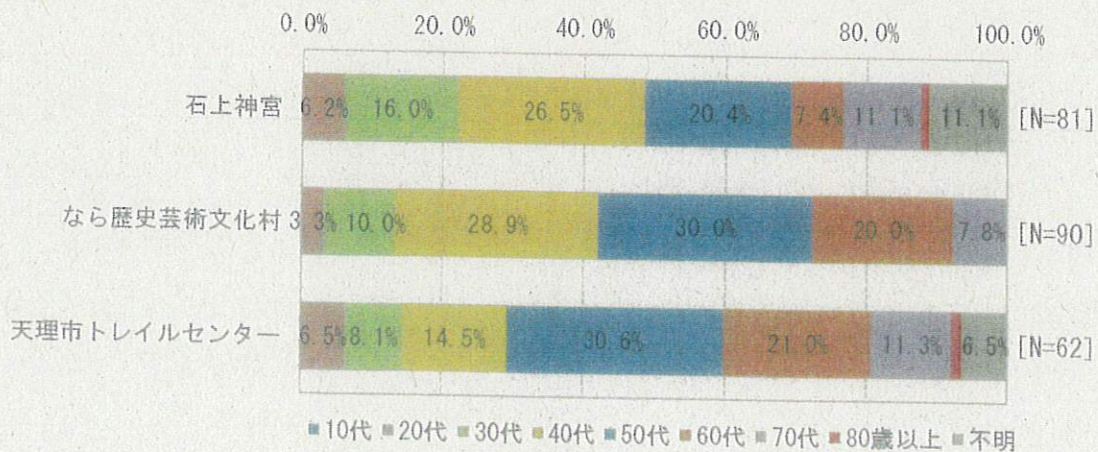


図 年齢

③ 同行者

○石上神宮では、「2人組」が49.4%、「個人客」(18.5%)、不明を除くその他はいずれも10%未満である。

○なら歴史芸術文化村でも、「2人組」が48.9%、「個人客」(37.8%)、その他はいずれも10%未満である。

○天理市トレイルセンターでも、「2人組」(37.1%)と「個人客」(24.2%)の割合が高いが、「小グループ」も24.2%と比較的高い。

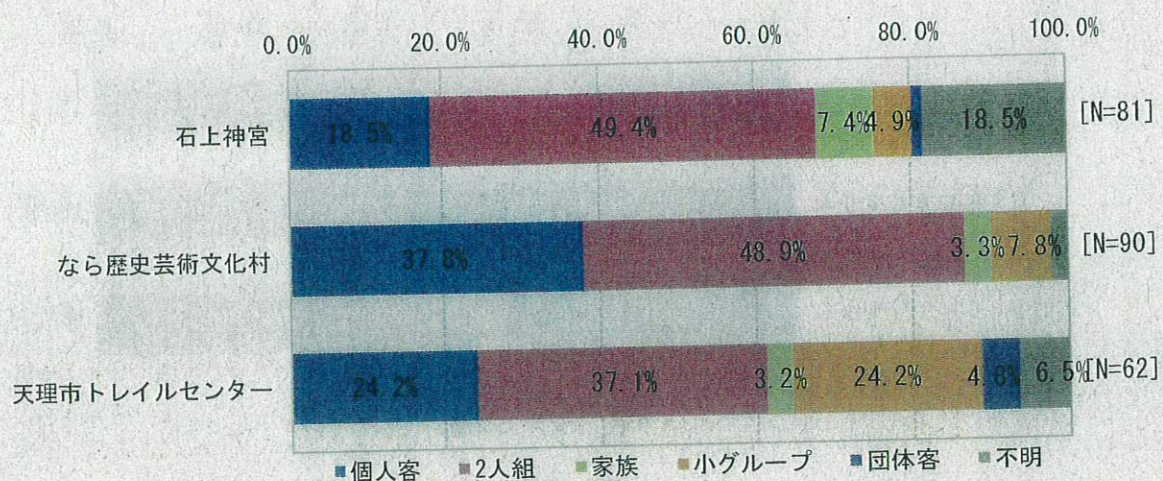


図 同行者

2 設問

① 居住地

○石上神宮では、「天理市外」が95.1%、「天理市内」が4.9%、なら歴史芸術文化村では、「天理市外」が93.3%、「天理市内」が6.7%、天理市トレイルセンターでは、「天理市外」が90.3%、「天理市内」が9.7%と、調査箇所による大きな違いはない。

○天理市外在住者の居住地内訳をみると、「大阪市」と「奈良市」が突出して多い。また、全国的な知名度の高い石上神宮やなら歴史芸術文化村のほうが天理市トレイルセンターより、遠方からの来訪者が多い傾向がある。

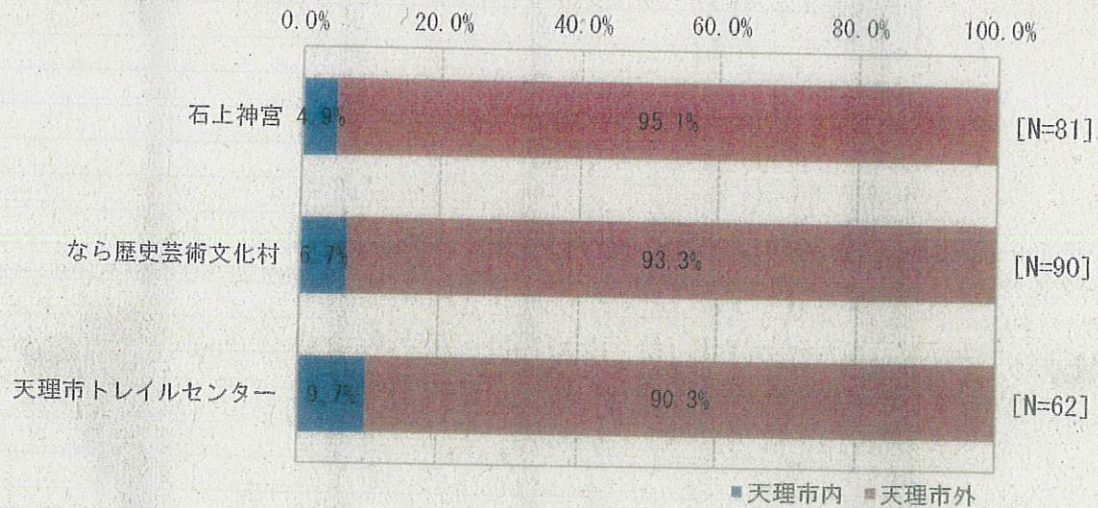


図 居住地

表 天理市内在住者の居住地

町	石上神宮	なら歴史 芸術文化村	天理市 トレイルセンター	全体
前栽町	1	1	0	2
田井庄町	1	1	0	2
柳本町	0	0	2	2
嘉幡町	0	0	1	1
指柳町	0	1	0	1
三味田町	1	0	0	1
袖之内町	0	1	0	1
竹之内町	0	0	1	1
豊田町	0	1	0	1
二階堂上ノ庄町	0	0	1	1
東井戸堂町	0	1	0	1
布留町	0	0	1	1
不明	1	0	0	1
計	4	6	6	16

表 天理市外在住者の居住地

都道府県	市区町村	石上神宮	なら歴史 芸術文化村	天理市 トレイルセンター	全体
奈良県	奈良市	4	8	5	17
	橿原市	1	4	4	9
	大和郡山市	0	4	4	8
	桜井市	1	2	3	6
	香芝市	1	2	0	3
	大和高田市	1	1	1	3
	生駒市	1	1	0	2
	御所市	1	1	0	2
	北葛城郡	0	1	1	2
	五條市	0	0	1	1
	王寺町	1	0	0	1
	河合町	0	0	1	1
	上牧町	0	0	1	1
	広陵町	0	0	1	1
	三郷町	0	1	0	1
	平群町	1	0	0	1
	磯城郡	0	0	1	1
	不明	6	0	0	6
大阪府	大阪市	3	4	4	11
	東大阪市	2	2	2	6
	堺市	2	2	2	6
	枚方市	2	3	0	5
	豊中市	2	0	1	3
	八尾市	1	1	1	3
	柏原市	1	2	0	3
	泉大津市	0	1	1	2
	箕面市	0	1	0	1
	吹田市	0	1	0	1
	四条畛市	0	0	1	1
	河内長野市	1	0	0	1
	羽曳野市	0	1	0	1
	熊取町	0	1	0	1
	阪南市	0	1	0	1
	不明	12	1	2	15
京都府	京都市	1	3	2	6
	宇治市	0	1	1	2
	京丹後市	0	1	0	1
	京田辺市	0	0	1	1
	長岡京市	0	0	1	1
	城陽市	0	0	1	1
	不明	2	1	0	3
滋賀県	守山市	0	1	0	1
	甲賀市	1	0	0	1
	日野町	0	1	0	1
兵庫県	神戸市	3	0	2	5
	西宮市	1	0	1	2
	尼崎市	0	1	0	1
	川西市	0	1	0	1
	丹波市	0	1	0	1
	加古川市	0	1	0	1

都道府県	市区町村	石上神宮	なら歴史 芸術文化村	天理市 トレイルセンター	全体
和歌山県	和歌山市	0	0	1	1
	不明	3	0	0	3
三重県	名張市	1	1	0	2
	いなべ市	0	2	0	2
	津市	1	0	0	1
	四日市市	1	0	0	1
	松阪市	0	1	0	1
	鈴鹿市	0	1	0	1
	不明	0	0	0	0
愛知県	名古屋市	1	3	2	6
	一宮市	1	1	0	2
	豊田市	0	2	0	2
	清須市	0	1	1	2
	豊橋市	0	1	0	1
	不明	0	0	2	2
岐阜県	大垣市	0	1	0	1
	不明	1	0	0	1
静岡県	静岡市	1	0	0	1
	焼津市	0	1	0	1
	島田市	0	1	0	1
長野県	塩尻市	0	1	0	1
岡山県	倉敷市	1	0	0	1
広島県	呉市	0	1	0	1
徳島県	板野郡	0	0	1	1
高知県	高知市	0	1	0	1
	南国市	0	1	0	1
福岡県	不明	1	0	0	1
東京都	台東区	0	0	1	1
	葛飾区	0	1	0	1
	武蔵村山市	0	1	0	1
	多摩市	0	1	0	1
	不明	2	0	1	3
神奈川県	横浜市	1	0	0	1
	川崎市	1	0	0	1
	不明	1	0	0	1
埼玉県	北足立郡	0	0	1	1
	不明	2	0	0	2
千葉県	我孫子市	0	1	0	1
	市川市	0	1	0	1
	不明	1	0	0	1
茨城県	結城市	1	0	0	1
栃木県	宇都宮市	1	0	0	1
青森県	弘前市	0	1	0	1
北海道	札幌市	1	0	0	1
	小樽市	1	0	0	1
不明	不明	1	0	0	1
計		77	84	56	217

N=217

② 各調査箇所への観光（余暇、散策等含む）目的での来訪回数

○石上神宮は、「初めて」が45.7%で最も多く、以下「2～5回」（30.9%）、「6～10回」（7.4%）と続くが、「31回以上」も16.0%と高い。

○なら歴史芸術文化村は、「初めて」が61.1%で最も多く、以下「2～5回」（30.0%）、「6～10回」（3.3%）と続いている。

○天理市トレイルセンターは、「2～5回」が43.5%で最も多く、以下「初めて」（27.4%）、「6～10回」（11.3%）と続くが、「31回以上」も9.7%と高い。

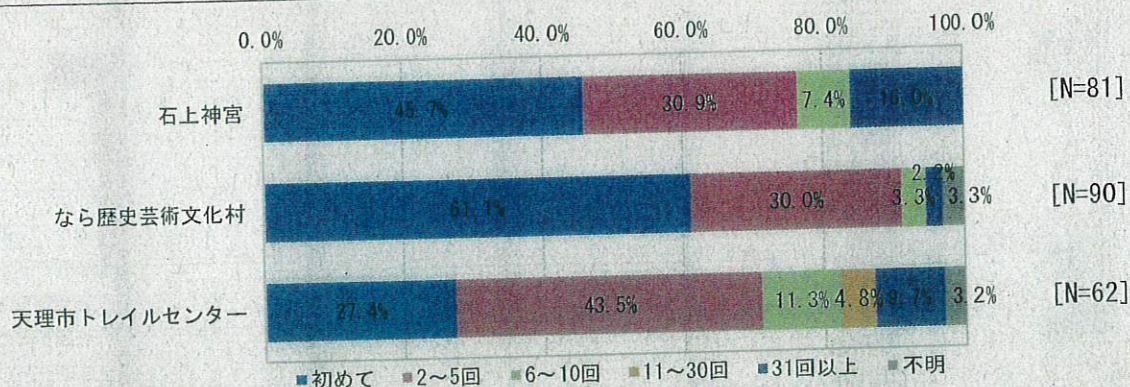


図 観光目的の来訪回数

③ 各調査箇所へ到着したときの交通手段

○石上神宮では、「自家用車」（55.6%）が最も多く、次に「JR・近鉄「天理駅」より徒歩」（22.2%）が続く。3番目には、他の調査箇所にはみられない「タクシー」（9.9%）が挙げられている。

○なら歴史芸術文化村では、「自家用車」（65.6%）が最も多く、次に「二輪・原付」（17.8%）が続く。

○天理市トレイルセンターは、「自家用車」が46.8%と最も多いが、これは主に同センター内のレストランを目的とする人と考えられる。以下「「山の辺の道（榎本方面）」より徒歩」（21.0%）、「JR・近鉄「柳本」駅より徒歩」（12.9%）、「山の辺の道（柳本方面）」より徒歩」（9.7%）と続いている。

○石上神宮と天理市トレイルセンターは、路線バスの停留所が近くにあるが、路線バスによる来訪者は極めて少ない。

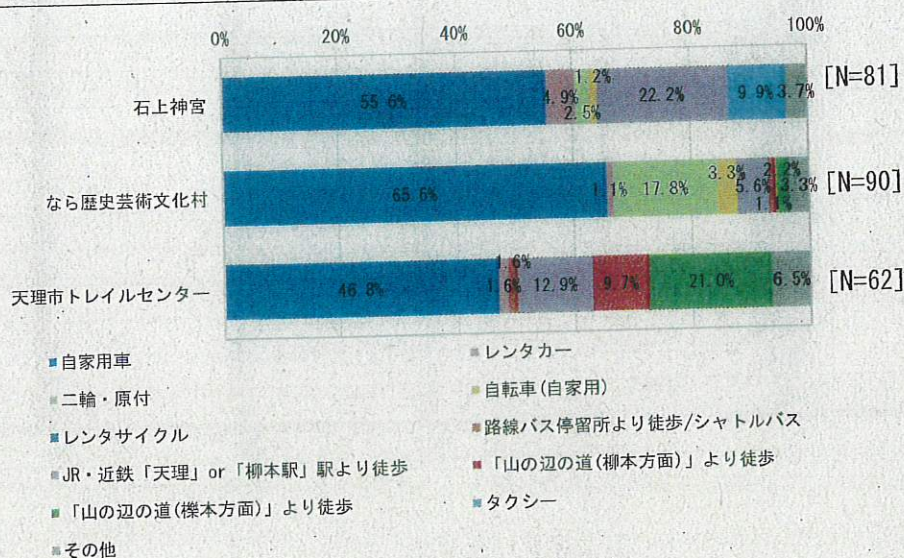


図 到着時の交通手段

④-1 調査対象箇所以外で、天理市内の観光目的で訪れた（訪れる予定の）ところ ※複数回答

○石上神宮では、「特になし」(50.6%)が最も多く、次いで「山の辺の道(散策・ウォーキング)」(23.5%)、「その他」(17.3%)、「天理教教会本部」(7.4%)、「大和神社」「なら歴史芸術文化村」(6.2%) など、石上神宮から徒歩圏内または山の辺の道沿線の観光スポットが多く挙がっている。

○なら歴史芸術文化村では、「特になし」(32.2%)が最も多く、「石上神宮」(30.0%)、「その他」(22.2%)、「山の辺の道(散策・ウォーキング)」(20.0%)が挙がっている。

○天理市トレイルセンターでは、「山の辺の道(散策・ウォーキング)」(50.0%)が最も多く、次いで「石上神宮」「その他」(22.6%)、「大和神社」(16.1%)と、こちらも山の辺の道沿線のスポットが多く挙がっている。「その他」の内訳をみると、「龍王山」が7件(11.3%相当)挙がっている。

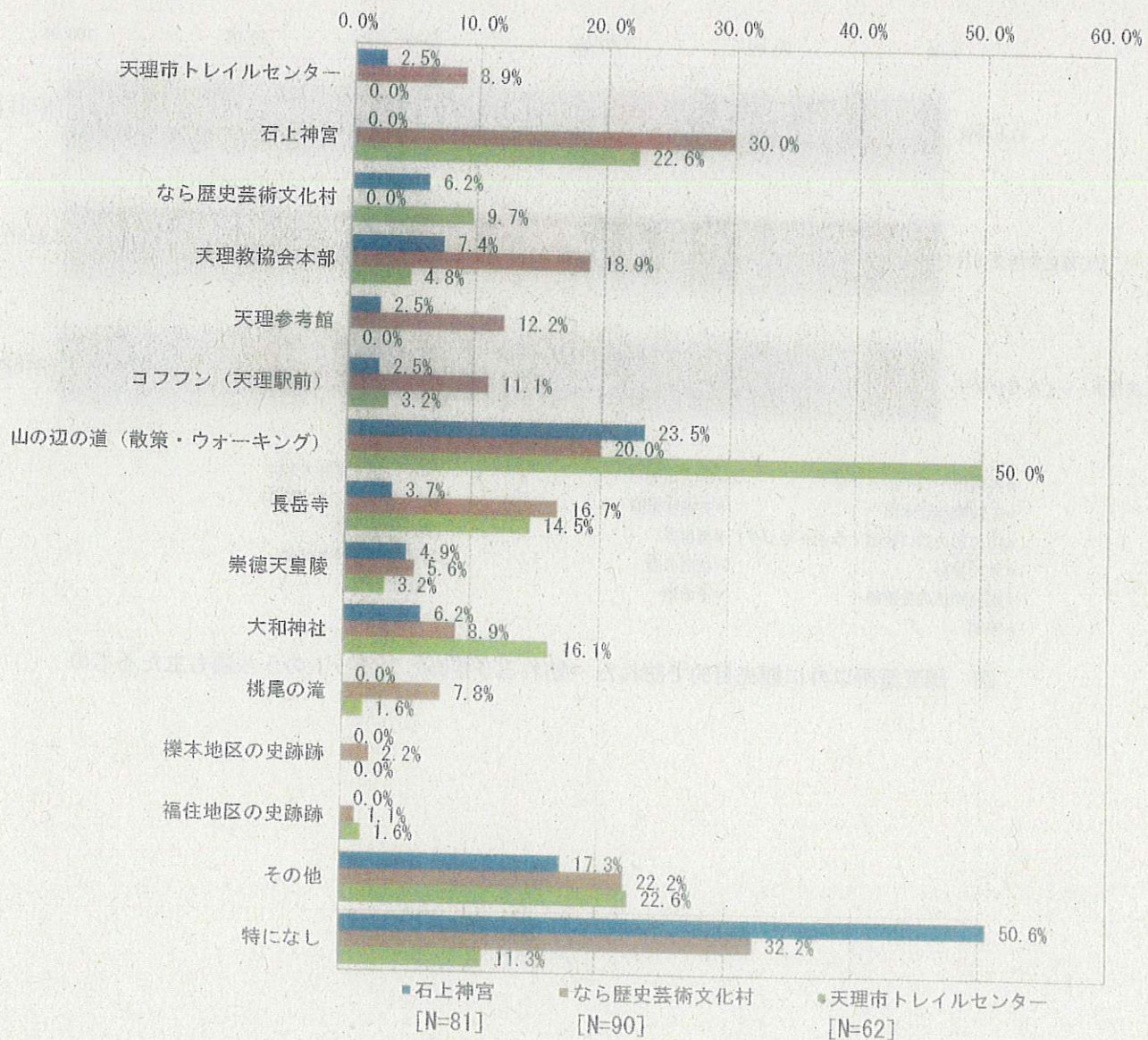


図 調査箇所以外に観光目的で訪れた（訪れる予定の）天理市内のスポット

④-2 対象箇所以外に訪れた（訪れる予定の）スポットの中で最も主たる目的地

○石上神宮では、「特になし」(40.7%)が最も多く、次いで「山の辺の道(散策・ウォーキング)」(14.8%)、「その他」(7.4%)が多く挙げられている。

○なら歴史芸術文化村は、「特になし」(24.4%)が最も多く、次いで「その他」(18.9%)、「石上神宮」と「天理教協会本部」(ともに11.1%)が挙げられている。

○天理市トレイルセンターでは、「山の辺の道(散策・ウォーキング)」(40.3%)が最も多く、次いで「その他」(17.7%)、「石上神宮」と「特になし」(ともに8.1%)が多く挙げられている。「その他」の内訳は、④と同じく「龍王山」が多い。

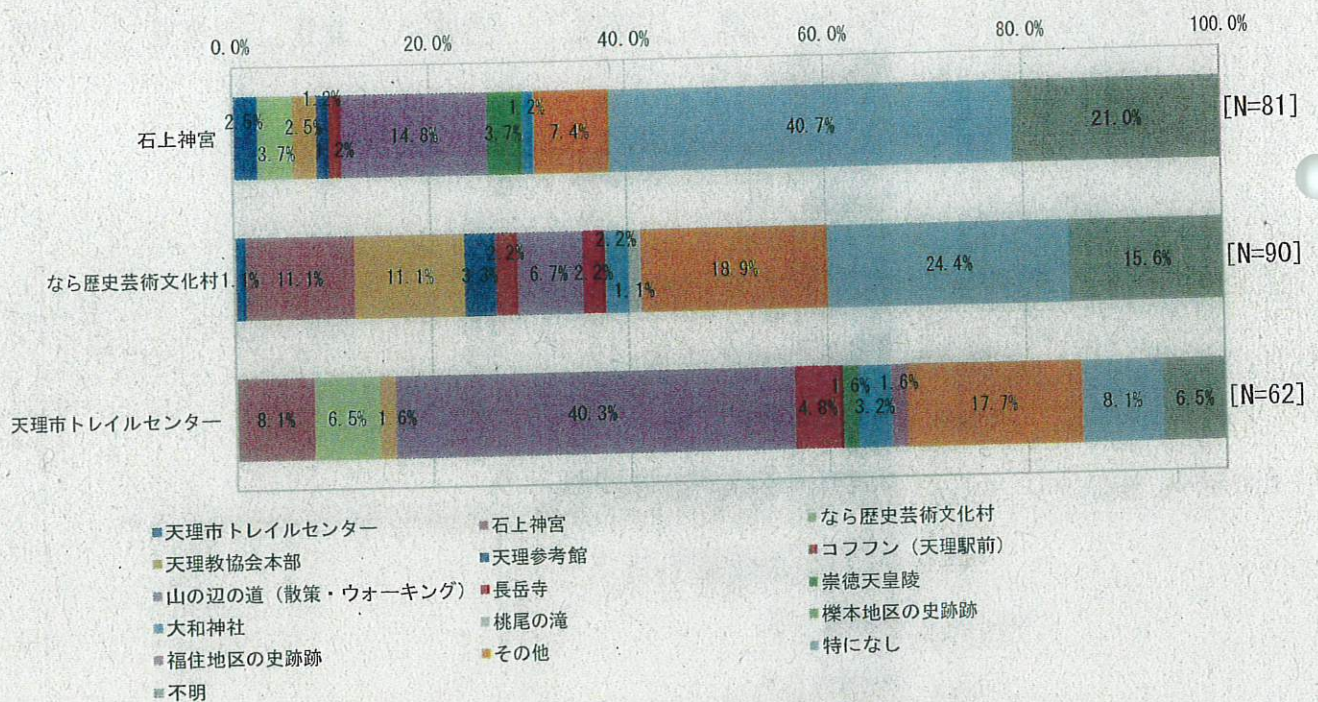


図 調査箇所以外に観光目的で訪れた（訪れる予定の）スポットのうち最も主たるもの

④-3 天理市への行き来に利用した代表的な交通手段

○石上神宮では、「自家用車」(51.9%) が最も多く、次いで「鉄道(近鉄天理線)」(24.0%)、「鉄道(JR桜井線)」(13.6%) が多く挙がっており、問④において自家用車で訪れた人が最も多いという結果を反映している。

○なら歴史芸術文化村では、「自家用車」(65.5%) が最も多く、次いで「二輪・原付」(19.0%) が多く挙がっている。

○天理市トレイルセンターでは、「自家用車」(51.8%) が過半数を占め、次いで多いのが「鉄道(近鉄天理線)」(23.2%)、「鉄道(JR桜井線)」(21.4%) で、センター内のレストランを目的とする人が多いことを示している。

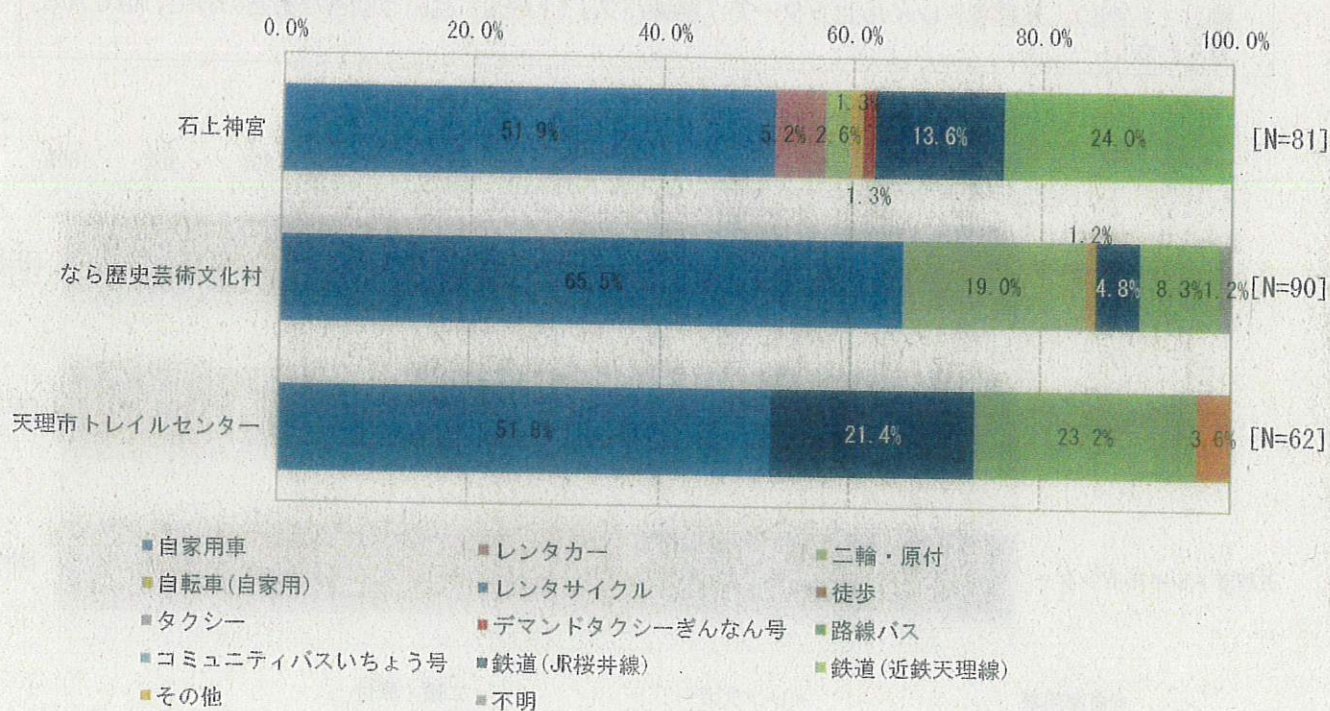


図 天理市内への行き来に利用する代表的な交通手段

④-4 天理市内の周遊に利用する代表的な交通手段

○石上神宮では、「自家用車」(45.7%) が最も多く、次いで「徒歩」(24.7%)、「タクシー」(9.9%) が多く挙がっており、石上神宮以外の来訪先として山の辺の道が多く挙がっているという前出の回答結果を反映している。

○なら歴史芸術文化村では、「自家用車」(62.2%) が最も多く、次いで「二輪・原付」(18.9%)、「徒歩」(14.4%) が挙がっている。

○天理市トレイルセンターでは、「徒歩」(56.5%) が最も多く、次いで「自家用車」(38.7%) が挙がっている。同センターは山の辺の道を散策・ウォーキングする人への休憩場所や情報発信を目的とした施設であるが、レストランなど一般の観光客を目的とする人の利用が多いことがうかがえる。

○市内の周遊に主に公共交通機関(鉄道、バス)を利用するという意見は、石上神宮で「鉄道(JR 桜井線)」(1.2%)、天理市トレイルセンターで「路線バス」(1.6%) という回答があるのみで、ほとんどみられない。

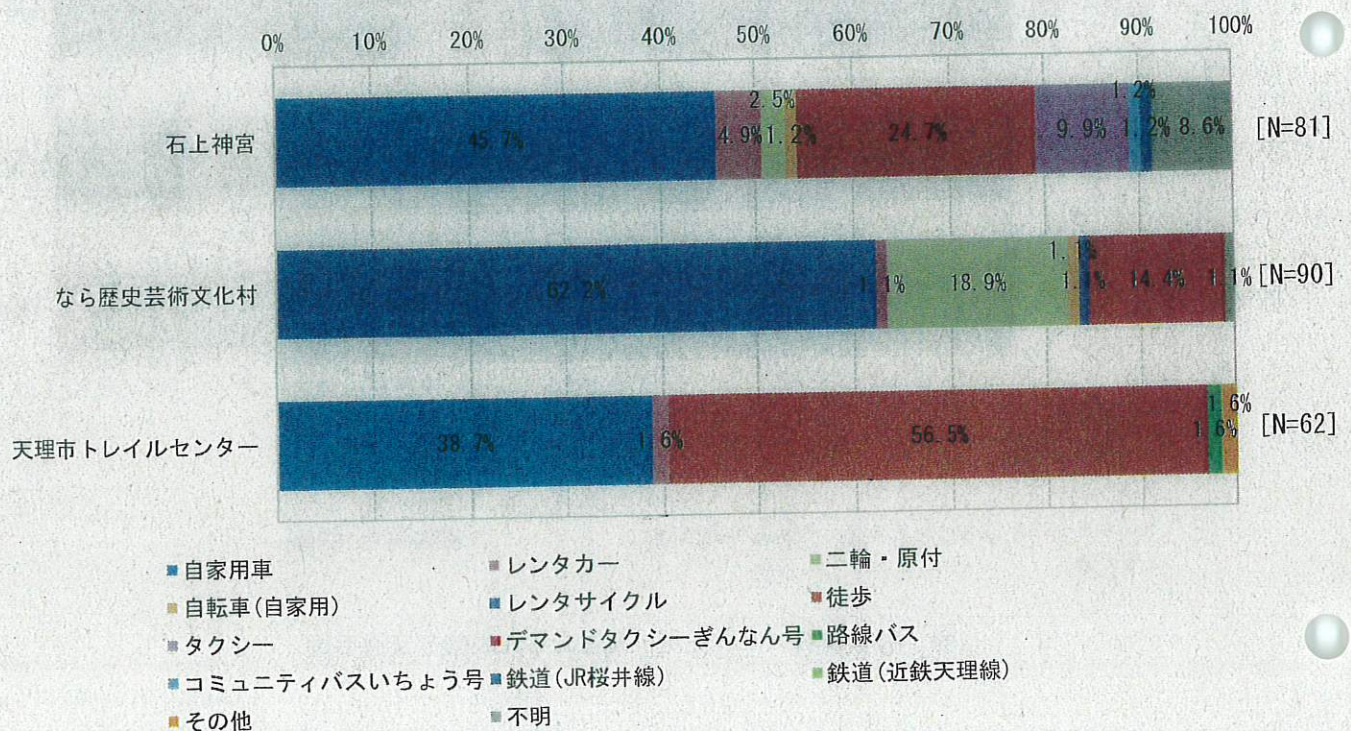


図 天理市内の周遊に利用する代表的な交通手段

⑤ 天理市への行き来や市内の周遊に公共交通機関を利用した理由

※④-3 または ④-4 で鉄道またはバスを回答した人を対象。複数回答

○天理市内の周遊の主な交通手段として公共交通機関（鉄道、バス）を挙げた人がほとんどいなかった
ので、本集計結果は天理市への行き来の交通手段として公共交通を利用した理由と考えてよい。

○石上神宮では、「車を運転できないから」が34.5%と多く、天理市トレイルセンターでは「目的地の
近くまで運行しているから」が54.2%と多いなど、調査地点による若干の違いがみられた。

○その他の具体記述としては、徒歩や散歩を目的としているから、車が無いから、等が挙げられている。

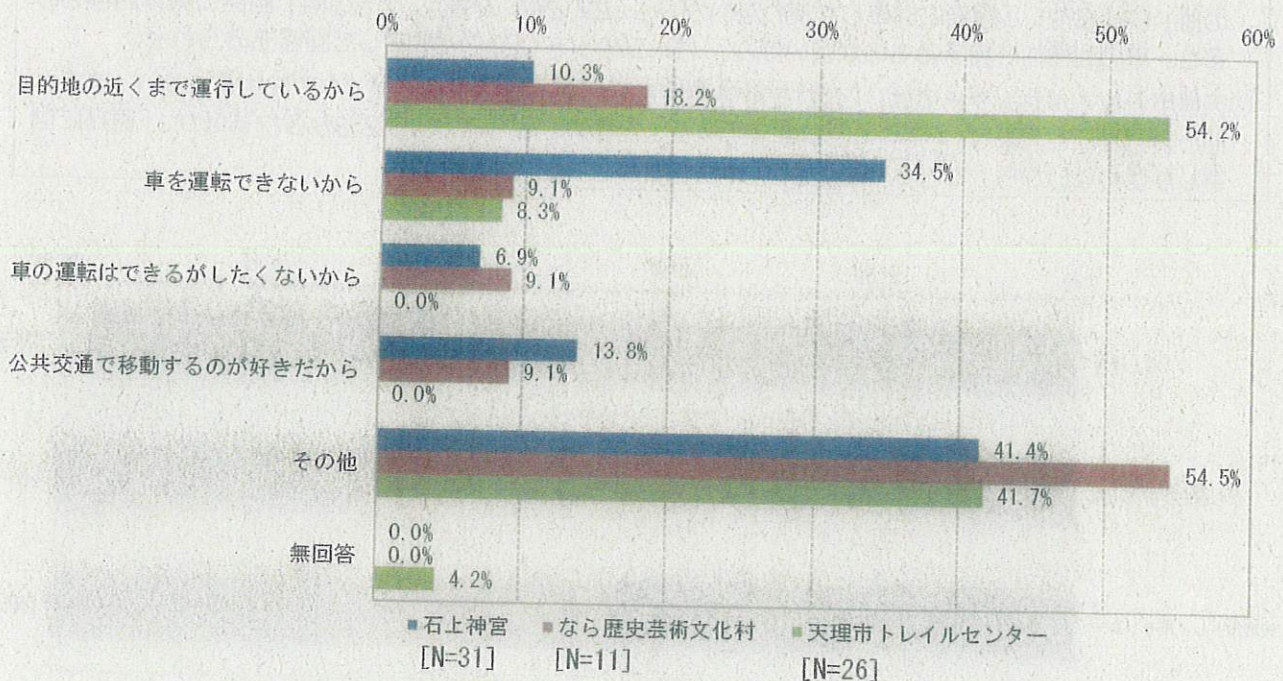


図 天理市への行き来や市内の周遊に公共交通機関を利用した理由

図 公共交通機関を利用した理由のその他の具体記述

石上神宮	なら歴史芸術文化村	天理市トレイルセンター
鉄道	団体旅行（山の辺の道）だったため、公共交通の利用の必要があったため	車がない
飛行機で関西に来たから	JR で天理まで行けるから	車がない
酒が飲めるから	自宅から鉄道を利用しやすいから	車がない
電車の方が疲れなくて楽だから	公共交通の方が散歩には便利	グループで来たため
速いから	到着してから歩けるから	便利だから
気分（車で来る時もある）	急いでいる時	車を持っていない
一人だから		歩きが目的だから
車が家になくから		散歩を目的としているため
埼玉から車では遠い		公共交通がそれしかない
（具体記述なし）		遠いから（車でくると）
渋滞がない		
歩くのが好きだから		

⑥ 天理市への行き来や市内の周遊に公共交通機関を利用しない理由

※④-3 及び ④-4 でいずれも鉄道またはバス以外の交通手段を回答した人を対象。

※複数回答があったものは、1人当たり合計1サンプルとなるよう分割して集計（例：1と2を回答している場合は、それぞれ1と2を0.5人が回答したとして集計）。

○石上神宮では、「観光には車しか使わないから」が30.8%と最も多く、次いで「その他」(28.8%)、「公共交通を利用したいが不便だから」(26.9%)が続く。「その他」回答の具体内容をみると、車の利便性に関するものが多い。

○なら歴史芸術文化村では、「公共交通を利用したいが不便だから」が33.5%と最も多く、次いで「その他」(31.6%)、「観光には車しか使わないから」(22.2%)が続く。「その他」回答の具体内容をみると、車の利便性に関するものが多いほか、バイクのツーリングを想定した回答もみられる。

○天理市トレイルセンターでは、「公共交通を利用したいが不便だから」が44.7%と最も多い。また、他の調査地点と異なり、「徒歩・自転車を目的とした観光だから」が13.2%みられるほか、「観光には車しか使わないから」が15.8%と低い。

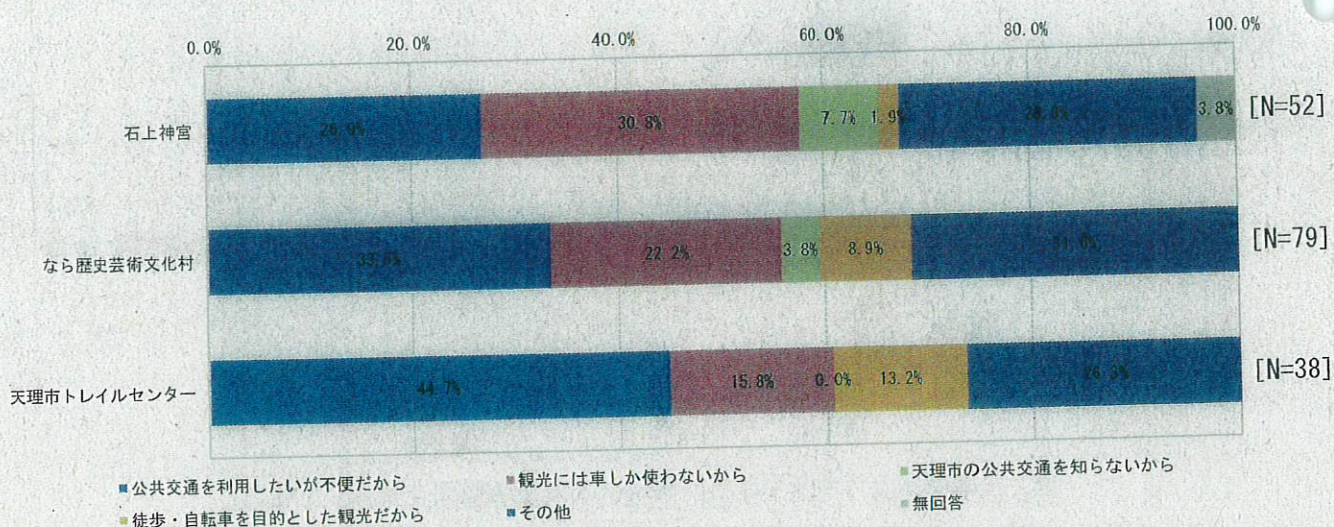


図 天理市への行き来や市内の周遊に公共交通機関を利用しない理由

表 「その他」回答の内訳

石上神宮 [N=16]	
他(古墳等)を巡るから	買い物とかも途中で行いたいから
自分の家から駅が遠い	近いから
徒歩 or 車だから	他に人を乗せる用事があるから
単車が便利だから	色々まわりたい、荷物が多い
速い	荷物多い、他市に行くから
他に巡る場所がある	家から駅までがそもそも遠い
車が便利	自転車が好き
鉄道、バスの予約が面倒だから	遠い
天理市トレイルセンター [N=12]	
人数が多かった	子供がいるから
家に近いから	子供がいるから
時間がかかる	車の方が便利
足が悪いから	車の方が便利
距離が遠いから	車の方が便利
車の方が便利	散歩
なら歴史芸術文化村 [N=26]	
車の方が楽だから	車の方がまわるのに便利
自宅からのアクセスが車の方が良いから	明日香村に用事があったため
車の方が便利だから	バイクを目的
自宅から公共交通が不便	公共交通は足が悪く使えない同行者がいる
仕事帰りだから	今日は買い物の予定があるため 車で
車の方が便利	道路が便利になったから
車の方が便利(自宅の立地上)	運転が好きだから
Door to door	車が便利だから
車の方が便利だから	人混みが嫌
ツーリングが目的	荷物の持ち運びのため
ツーリングを楽しむため	道の駅を巡りたいから
車での移動が便利だから	今回は車旅だから
別のところに行ったついでだから、車で来た	道の駅周遊が趣旨

⑦ 天理市の公共交通機関のどのようなところが不便か

※⑥で「公共交通を利用したいが不便だから」と回答した人を対象。複数回答

○石上神宮では、「便数が少ない」が50.0%と最も多く、次いで「目的地への運行がない」(31.3%)、「時間がかかる」(18.8%)が続く。
 ○なら歴史芸術文化村では、「目的地への運行がない」が55.2%と最も多く、次いで「時間がかかる」(20.7%)、「便数が少ない」(13.8%)が続く。
 ○天理市トレイルセンターでは、「目的地への運行がない」が42.1%と最も多く、次いで「その他」(21.1%)、「便数が少ない」「時間がかかる」(15.8%)が続く。

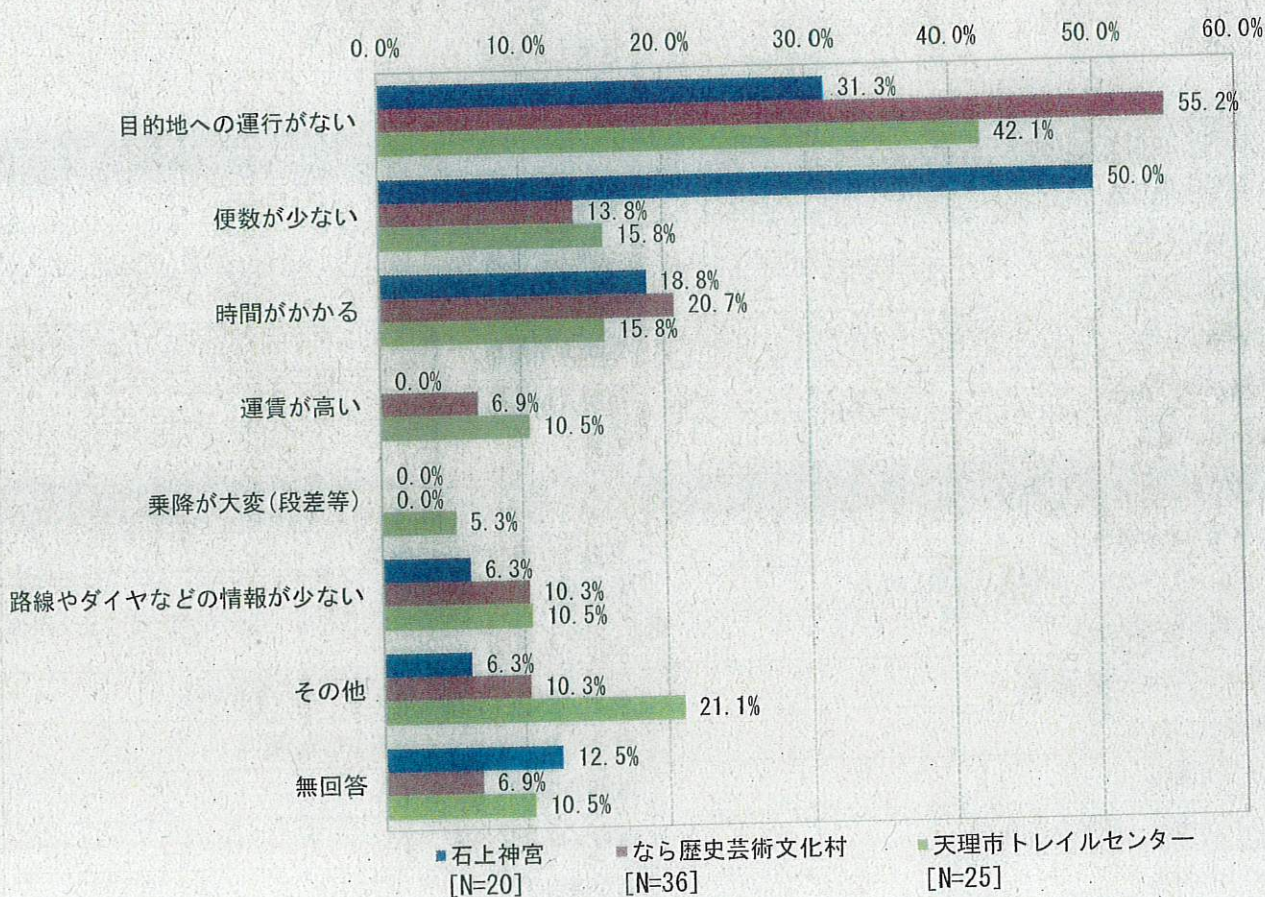


図 天理市の公共交通機関の不便と感じるところ

表 「その他」回答の内訳

石上神宮 [N=1]	天理市トレイルセンター [N=6]
乗換が面倒	足が悪い
なら歴史芸術文化村 [N=5]	家から駅が遠い
自宅からだ遠回り	観光地がバラバラ
乗換が不便	足が悪い
乗換がある	自宅からバス停が遠い
乗換(JR-近鉄)	遠い
自宅からは車が便利だから	

⑧ 観光・周遊の視点から、天理市の公共交通がどうなればもっと便利になるか（自由意見）

○石上神宮、天理市トレイルセンターでは、「本数（便数）の増加」に関する意見が最も多く、特に石上神宮では大半の意見となっていた。

○一方、なら歴史芸術文化村では「周遊バスの運行」の意見が最も多く、次いで「本数（便数）の増加」、「わかりやすい情報提供」となっているなど違いがみられた。

表 自由意見の回答傾向のまとめ

観光目的での公共交通への要望	総数	回答地別		
		石上神宮	なら歴史 芸術文化村	天理市トレイル センター
本数（便数）の増加	46	27	7	12
周遊バスの運行	28	0	23	5
わかりやすい情報提供	6	0	5	1
乗換をしやすいとする	5	2	1	2
料金の引き下げ	5	0	1	4
マルチモーダルな切符の発売	2	0	2	0
その他	55	14	24	17

表 石上神宮での回答者の自由意見

分類	観光目的での公共交通への意見
本数	JR・近鉄の本数を増やしてほしい
	石上神宮のバスの便を増やしてほしい
	コミュニティバスしかない、バスの本数が少ない
	コミュバスは停まる場所を増やしたり本数を増やしてほしい
	市内を巡るにはバスが少ない。増やしてほしい。
	電車、バスの本数を増やしてほしい
	電車・バスの本数が増えればいい
	電車の遅延、本数が少ないのを改善してほしい
	電車やバスの本数を増やしてほしい
	天理駅から石上へのバスが便数多めで欲しい
	天理駅からタクシーで石上へ、バスか直通で本数が多くなれば使いたい
	バスが少ない
	バスターミナルが華やかになったり、観光気分を味わえるようになったら。本数も増やしてほしい（少ないイメージ）
	バスの本数が少ない
	バスの本数が少ない
	バスの本数が少ない
	バスの本数が少なすぎる
	バスの本数を多くした方がよい
	バスの本数を増やしてほしい
	バスの本数を増やしてほしい
	バスの本数を増やしてほしい
	バスの本数を増やす
	バスの本数を増やせばよい
	便が少ない
	便数を増やしてほしい
	本数を増やしてほしい
	本数を増やしてほしい（主にバス）
乗換	地元の人が列車に乗るのがかわいそう。本数少ないままでいいから連絡、接続がよくなるようにする。観光客に合わせた電車の時刻表にする
	乗換の回数が多い
その他	駅から遠い
	駅から遠すぎる
	橿原まで行くバスとかが欲しい
	公共交通を知らない
	電車や子供がいる場合、身動きがとりにくい
	天理駅から石上までバスが欲しい
	荷物が多くても利用できるように、エレベーターなど整備してほしい
	バス
	バリアフリーにしてほしい
	レンタサイクルをもっと早くしてほしい（8時からだった）
	特に不便はしていない
	現状、便利になってきている
	特になし、既に便利である
	満足

表 なら歴史芸術文化村での回答者の自由意見

分類	観光目的での公共交通への意見
周遊バス	駅から目的地を巡る周遊バスがあれば
	観光客用の駐車場＋そこから観光地をコースごとに巡るバスが出る→観光地を巡る順番をルートとして示してくれると嬉しい
	観光地同士を結ぶシャトルバス等（道の駅⇄道の駅）
	観光地を直接結ぶバス
	観光地を巡るルートの設定、周遊バス等で回ると良い、もっと宣伝してほしい
	観光バスみたいに周ってくれたら（奈良交通がやってたように）
	県外の人でも乗りやすい循環バスがあると良い
	周遊バス
	周遊バス
	周遊バス
	周遊バス
	周遊バス（乗降りフリーのもの）、休日等に観光客向けの無料駐車場（市役所の駐車場を開放するなど）
	周遊バス、乗り捨てのレンタル（車・自転車）があれば良い
	周遊バス。レンタサイクル（乗り捨て可能なもの）を各観光地に設置
	周遊バスがあれば欲しい、あるなら宣伝してほしい
	周遊バスがあれば良い
	周遊バスがあれば良い、バス専用道路があるとスムーズに周遊できそう
	周遊バスがあれば良いが、お年寄りにはその利用も大変に感じる
	巡回バス、天理駅発着の周遊バス（観光目的のもの）があれば良い
	循環バス（乗り放題）があると良い、若いころは山の辺の道を歩いたが…
	循環バスがあると良い、車が便利すぎる
	モノレールのような周遊できるものがあれば
本数	市内中心部を均一料金で走行する路線バスがあるといい
	京都のように本数が多く常に走っていると乗りたくなる
	鉄道がもっと使いやすくなれば便利（本数を多く、安く）
	奈良交通がもっとうまく走れば（本数が少ない）、市営駐車場に停めて山の辺の道の散策もできる
	バス停が少ない（家の近くにできれば良い）、駅から文化村へのバスの本数
	バスの便数を増やす
	バスの本数を増やすなど
情報提供	便数、電車からの乗換少なく
	宣伝不足かも、地元民も知らない。夕方以降バス少ない。
	駐輪場を増やす。文化村の案内看板があれば利用者増加が見込めるのでは
	バスがもっとわかりやすく使いやすくと良い
	バスの行き先が明確であれば（バス停の名前がわかりやすい）使いたい
一括切符	目的地までの路線、ルート等がわかりやすく発信されていると観光しやすい
	近鉄、JR、バス一括切符（わかりやすい）→遠い人でも行きやすい。法隆寺とかはアクセスよい。
乗換	周遊きっぷ、車を置いて動く代替の移動手段があれば
	近鉄とJRの接続が悪い。よくなれば使いたい
料金	値段安く、目的地運行が少ない
その他	51号線にバス路線がないのであると便利ではないか
	愛知からは乗換が必須、バス停ややこしい、荷物・お土産考えると車が楽→直通バス
	空いていない時間に利用した（2回）、文化村は魅力的（具体的な案出てこず）
	駅が近ければ電車使う
	駅から近い（観光地が）、歩く距離が短い方が良い。
	駅からの直通バスなどがあると良いのではないかと オンデマンドバスの充実

分類	観光目的での公共交通への意見
その他	各地へのアクセスが良ければ
	京都から行きにくい。奈良市であればバス電車つかう。駅から観光地が近ければ使う。
	公共交通が盛んになって道が混まなくなれば良い。(バイクに乗る前提で)
	シャトルバス
	シャトルバスがあれば良い+1日乗り放題(500円くらい)があると利用したい
	駐車場無料(バスとの乗り継ぎ楽)、オンデマンドバス(融通きくバス)
	デマンドバスはありがたいが面倒くさい(徒歩で迷った上に疲れたのでデマンドバスで帰る)
	天理駅から目的地へのアクセスを簡単にするものがあれば良い
	天理市だけではなく他の市町村の観光地とのアクセスが良好になると良い
	乗り放題のバスがあれば。都度払う手間がなく便利
	ハイキングの復路として利用することはあるが、往復利用しようとは思わない。往復でもって利用しやすいとなると良い
	走りやすい道、走って楽しい道が多いと思う、もっと整備してくれると良い
	バス(オンデマンド型)すぐ来てくれるバス
	バスの路線が網羅的になれば
	融通がもっときけば、乗り場⇄目的地が快適に結ばれれば
	融通の利くもの、高齢者は車が便利
	フリーバスがあれば便利

表 天理市トレイルセンターでの回答者の自由意見

分類	観光目的での公共交通への意見
本数	時間をもっと短くなれば、便数も多くしてほしい、案内・周知・広報をもっとほしい
	JRの本数が少ない
	バスの本数
	バスの本数が少ない、観光地が駅から遠い
	バスの本数を多くしてほしい、車の方が経済的に使いやすい
	バス本数を増やしてほしい、山の辺の道が複雑でわかりにくい
	便数が少ない
	便数を増やす
	本数が少ない
	本数が欲しい
	本数を多くしてほしい（電車まほろば線）、基本便利
	本数を多くしてほしい、安くしてほしい、東西を走る路線が少ない
周遊バス	観光地を周遊する公共交通、車で近くまで周遊したい
	上手く周るバスが欲しい
	歴史的建造物等との関連性を考慮してバス周遊の計画を検討。期間（時間的）を考えて計画する。
	循環バスや100円バスみたいな交通があると、小回りがきいて利用するかもしれない
	周遊バスがあれば良い
料金	近鉄の料金が安い
	近鉄の料金が安い
	車より近鉄の料金が安い、低くなれば選択肢に入るかもしれない
	バスの料金が安い
乗換	乗換が不便
	乗換が面倒くさい（直通の交通がない）
情報提供	バスの情報がわかりにくい、紙面での情報提供が欲しい
その他	天理市中央までいくのが大変→市内周遊バスほしい、かつ広報をしっかりしてほしい（周知）
	ICカードのチャージが不便（仕組みがわかりにくい）
	諦めて道路の整備をした方が良い
	新しい形の交通をもっと増えれば楽だしいい
	移動が大変
	駅から観光地が遠いから来にくい。バスとかあると使うかもしれない。
	車があるので、そもそも使う機会がない
	天理の駅から観光地までが遠い
	乗合タクシーがあれば良い
	乗継は良かった、特になし
	バス網の拡大
	バス路線の拡大
	山の辺の道からのバスが欲しい
	路線数を増やしてほしい、下車するところが自由になればいい
	和歌山市から直通だとありがたい
	本数が多い、安いに越したことはないが、現状満足
	本数は少ないが不便は感じない

